

授業科目(ナンバリング)	海外留学 (CA130)			担当教員	国際観光学科専任教員		
展開方法	講義・実習	単位数	4 単位	開講年次・時期	1 年	必修・選択	選択必修 / 必修 (選択コースで異なる)
授業のねらい							アクティブ ラーニング の 類 型
<ul style="list-style-type: none"> <li>留学先の言語の運用能力を高め、人種・文化・価値観などをお互いに尊重しながらコミュニケーションをとることができるようになる。</li> <li>留学先の自分たちとは異なる文化圏の人々の行動や考え方を理解することができるようになる。</li> <li>日本とは異なる環境の中でも、意欲をもって学修に取り組むことができ、その内容をレポートにまとめることができる。</li> </ul>							④⑦
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・方法	評価比率
専門力	留学先での学びを通して得た専門的知識を簡潔に説明することができる。					経過報告	20%
情報収集、分析力							
コミュニケーション力	留学先の言語を使用し、その地域の人々と交流をすることができる。					レポート	50%
協働・課題解決力							
多様性理解力	留学先の異なる環境の中で、異文化の理解に努め、意欲を持って学修に取り組むことができる。					留学先からの書類	30%
出 席						受験要件	
合 計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>半期(15週以上)の間、大学が認めた留学を終了した学生に対して、留学中の経過報告、レポート(「留学を通して学んだこと」と留学先からの成績証明書や出席状況の報告書などの書類を基に、上記の到達目標に達しているかの評価を行う。到達目標に達していると認定された学生は「Q」判定が付与される。なお、この単位の申請には、留学前の事前指導、留学中の経過報告に基づく指導、留学後の事後指導を受けることが必要となる。留学中の報告には、適宜フィードバックを行う。</p>							
授業の概要							
<p>学生は、留学前から十分に語学力の向上に努め、留学に備えること。留学中は、日誌をつけることで、日々の学びの振り返りができるようにしておくことが重要である。また、ものごとを多角的な視点で捉え、学んだ知識を生かすことができるように様々な事柄に取り組むことが重要であり、日本とは異なる環境の中での、学びの経験を積み重ねていく。なお、本科目はグローバルツーリズムコースの学生は必修科目となる。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：特に指定しない  参考書：『地球の歩き方』(留学地域のもの)  指定図書：『地球の歩き方』(留学地域のもの)</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>留学すると、言葉の壁だけでなく、慣れない環境で戸惑うことも多い。一日一日が新しい経験の連続で、日本で生活している時には、決して味わうことのできない感動や驚きを体験することができるでしょう。様々な人との交流の中で得られる「コミュニケーション力」や、海外の文化に触れることで得られる「広い視野・視点」、など、吸収できる全てを吸収して、大きく成長して帰国してもらいたい。</p>							